

高度センシングによる先制ヘルスケア

生体や環境の日常を捉える高解像度センシングにより先制ヘルスケアを実現する

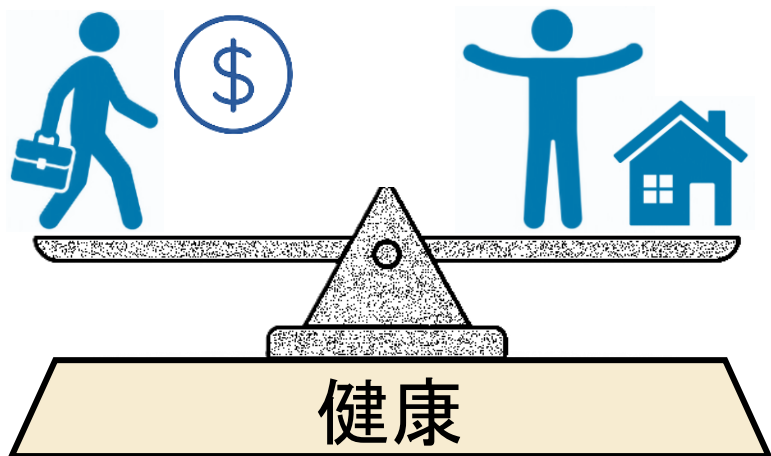
達 吉郎

2026年6月15日 NEDOサミット



健康は、個人及び社会の至高の価値!

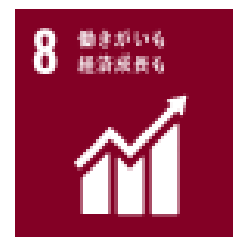
健康 ⇒ 個人の幸福



健康 ⇒ 社会の持続性



高齢化社会



医療費増大



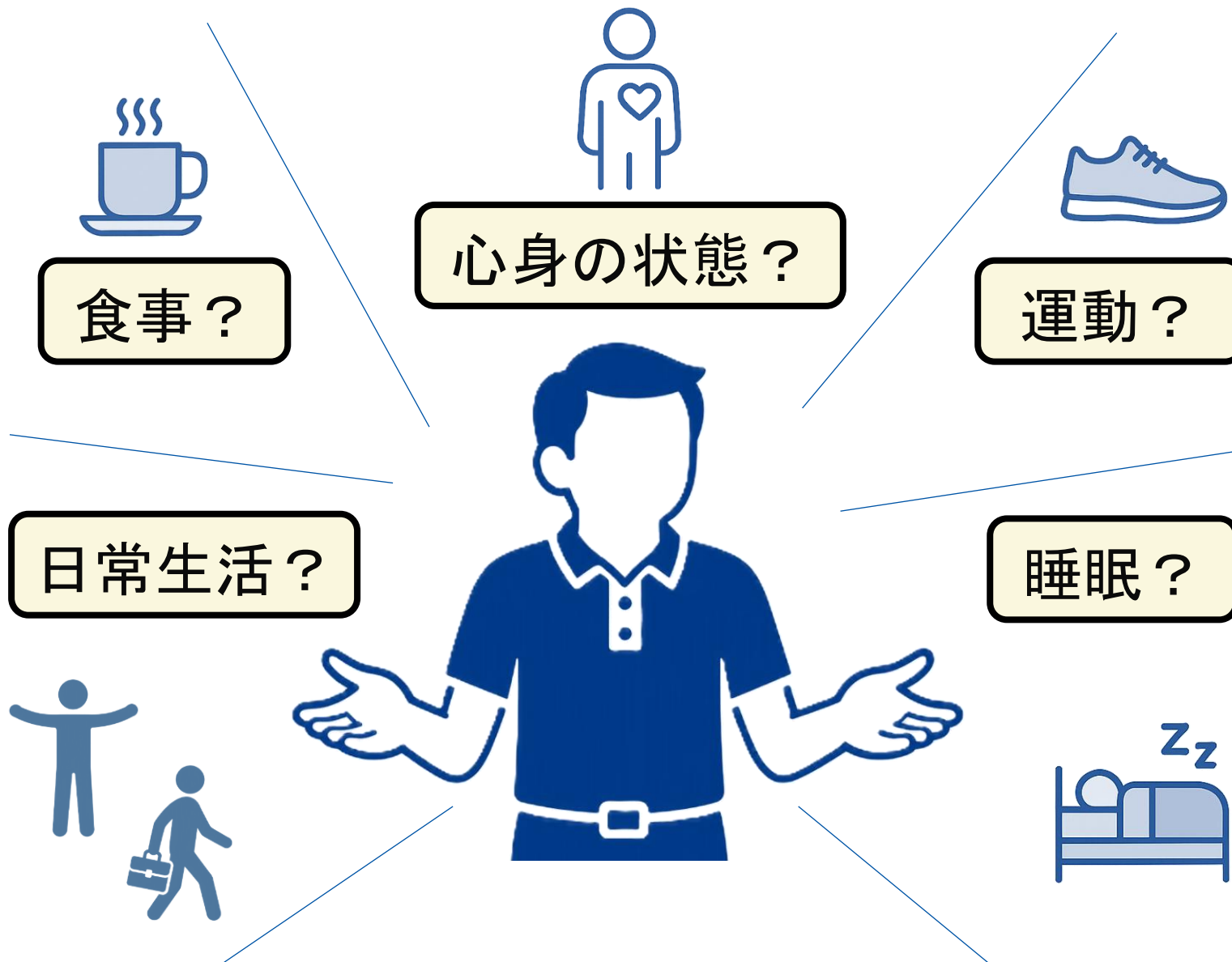
健康寿命延伸

労働力不足

イノベーション

先制ヘルスケアによる解決

健康の維持増進・疾病予防効果が見えない



短期的な満足を優先



怠惰



食欲

私向けでない多くの情報



情報過多・分断



非個人最適化

健康状態が見えていない

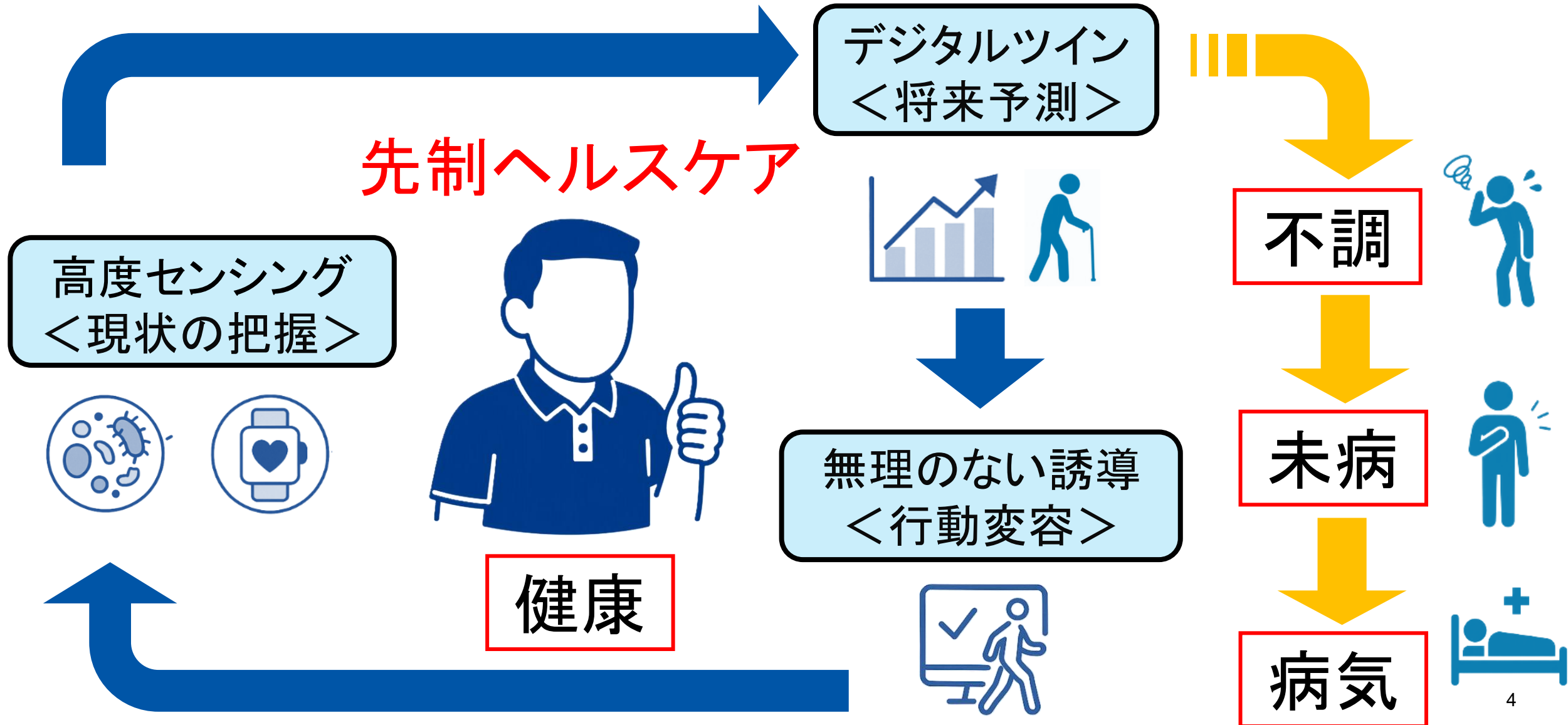


技術や支援不足



認知

高度センシングによる健康状態の可視化と個別最適化



求む、アイデア

体内状態の非侵襲計測

高度センシングによる
先制ヘルスケアに向けて。

口腔菌叢
・ガス



センサ付
トイレ



飲み込み
センサ



ウェアブル
センサ



分子認識
デバイス



生活環境の計測



室内解析
(PM2.5
アレルゲン)

日常活動の計測



栄養解析
センサ



咀嚼・嚥下
モニタリング

認知・介入技術



デジタル
ツイン